

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第19号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7108



平成10年度 入学式

去る4月7日、入学式が本学体育館で行われました。平成7年度に開学した保健学部は、本年度4期生を迎えることとなりました。

総勢821名の新入生は高木理事長、大谷学長の式辞、千保一夫太田原市長をはじめとするご来賓の勵ましの辞をいただきました。次いで新入生を代表して言語聴覚障害学科に入学した久保田純子さんが「ケアを必要とする方々のニーズに応えるためには、専門的な知識や技術だけでなく、人間的にも豊かになっていかなければなりません。」と新入生代表の誓いの言葉を述べました。

= 目次 =

ページ	ページ	ページ
新学期を迎えて ······ ······ 2	就職委員会 ······ ······ 3	放射線・情報科学科 ······ ······ 5
出来事 ······ ······ 2	国際フィールドワークフェローシップ	医療経営管理学科 ······ ······ 6
学長の日程から ······ ······ 2	海外研修(フィリピン)に参加して ··· 4	医療福祉学科 ······ ······ 6
大学来訪者 ······ ······ 2	委員会報告 ······ ······ 4	医学教育センター ······ ······ 6
第1回介護支援専門員(ケアマネジャー)	教務委員会 ······ ······ 4	言語教育センター ······ ······ 6
実務研修受講試験のための講習会開催	F D小委員会 ······ ······ 4	情報教育センター ······ ······ 6
お知らせ ······ ······ 2	紀委員会 ······ ······ 4	臨床医学センター ······ ······ 6
イブニングタイム公開講座日程 ··· 2	国際交流委員会 ······ ······ 4	教員紹介 ······ ······ 6
図書館利用について ······ ······ 3	ボランティア委員会 ······ ······ 5	18号のクイズの正解 ······ ······ 7
ケニア国・コメディカルカレッジ	学科・センターだより ······ ······ 5	当選者発表 ······ ······ 7
プロジェクト発足 ······ ······ 3	看護学科 ······ ······ 5	サークル紹介 ······ ······ 8
大学院修士課程の設置について ··· 3	理学療法学科 ······ ······ 5	リレーエッセイ ······ ······ 8
	作業療法学科 ······ ······ 5	編集後記 ······ ······ 8
	言語聴覚障害学科 ······ ······ 5	IUHWクイズ ······ ······ 8

新学期を迎えて

学長 大谷藤郎

今年の日本列島の桜の開花は早く、今までの入学式では、固い霜のままだった大学の桜も、今回はじめてたくチラホラ。とはいって校内の桜の木はまだ小さい。早く大木に育ってほしい。

今年、保健学部5学科は4年目の完成年度、4年生は来年いよいよ卒業、国際医療福祉大学の輝ける第一期生だ。一期生から四期生まで、みんな桜に負けずに成長して力いっぱい花を咲かせてほしい。

管理棟玄関をはいったうす暗い右側のコーナーに立っている青銅の天女像、1月6日に除幕式を行ったが、そこに何か書けといわれて「愛美」の文字を一生懸命書いた。「愛があるので、人生には意味がある」「美を感じるのは、愛が心に生まれるからである」。第二次大戦中の1941年、暗い絶望の時代の中での武者小路実篤の言葉を皆さんにおくります。

出来事

◇学長の日程から

* 平成9年12月4日(水)～5日(木)

予防医学中央会：宮崎県

* 平成10年1月12日(月)

母子保健推進員合同研修会講演：

大田原市保健センター

* 平成10年1月21日(水)～23日(金)

予防医学中央会：長崎県

* 平成10年3月2日(月)

多摩看護学校講義

* 平成10年3月5日(木)

パラリンピック開会式：長野県

◇大学来訪者

* 平成10年1月9日(水)

財団法人 厚生統計協会 8名

* 平成10年1月22日(土)

芳賀郡民生委員児童委員 163名

* 平成10年1月26日(木)

国立公衆衛生院 特論(II)コース学生 22名

* 平成10年2月13日(金)

西那須野町民生委員児童委員協議会 48名

* 平成10年2月19日(木)

茨城県立土浦第二高校 3名

* 平成10年2月23日(月)

栃木県精神障害者愛護協会 10名

◇第1回介護支援専門員(ケアマネジャー)

実務研修受講試験のための講習会開催



3月20日から3日間ケアマネジャー講習会が当大学で開催され、約500人が受講しました。県内をはじめ群馬県や福島県からの参加者もあり、予想以上の人気の高さでした。県内では初めての開催であることから、各実習施設や病院、特に看護婦の参加が多く関心の高さが伺えました。

介護保険制度は平成12年より導入され、その制度の円滑な実施のためにはケアマネジャーの役割が不可欠であると考えられています。ケアマネジャーの資格を得るために実務研修受講資格試験合格後、実務研修を受け修了証が発行されます。現在、全国的に養成が進められていますが、今後も大学では、講習会を定期的に開催する予定です。

お知らせ

◇イブニングタイム公開講座日程

今年度は『長寿社会のライフプランを考える』というテーマで、長寿社会の生活設計を考えるための情報提供や、これからの地域社会のサービスの在り方、利用方法などを展望します。教職員・学生の参加も可能です(学生は受講料100円)。各講座ともE101教室で午後6時から7時半の予定です。

「長寿社会」のライフプランを考える

回数	開講日	内容	講師
第1回	5月6日(火)	ここに豊かな高齢期と生きがい ～新しい高齢者像とライフスタイル～	鈴木 五郎 医療福祉学科准教授
第2回	5月13日(火)	上手な福祉サービスの利用の仕方① ～介護施設の選び方と使い方～	橋本 正明 日本社会福祉士会 会長 医療福祉学科 講師
第3回	5月27日(火)	暮らしのなかのリハビリテーション ～身体機能の障害をどう克服するか～	丸山 仁司 理学療法学科 教授
第4回	6月3日(火)	上手な福祉サービスの利用の仕方② ～在宅福祉サービスのあれこれ～	中野 いく子 医療福祉学科 教授
第5回	6月17日(火)	長生きは家づくりから ～バリアフリー住宅のつくり方～	林 玉子 医療福祉学科 教授
第6回	6月24日(火)	家庭でできる介護のポイント ～簡単な用具、機器の利用～	城ヶ端 初子 看護学科 教授
第7回	7月1日(火)	長寿社会の生活設計 ～年金改革の展望と老後の生計～	六波羅 詩朗 医療福祉学科 教授

◇図書館利用について

- ①私語厳禁
- ②飲食厳禁
- ③飲食物持ち込み禁止
- ④館内禁煙

以上の事柄は、図書館利用の際にはごく基本的なマナーですが、守られないことがあります。

今年、卒業と国家試験を控えている4年生のためにも、気持ちよく学習できる環境を、皆様と共に作りたいと願っております。

図書館

修のため4月6日から5月22日まで来学、5月連休明けにはカレッジの学長も来訪される予定です。

皆様方のご協力をお願い申しあげます。（長谷川豊）

◇大学院修士課程の設置について

保健学部は平成11年度に本学初の卒業生を送り出しますが、大学院へ引き続き進学できるよう、平成11年度開設に向けて文部省に設置認可申請すべく目下、大学院設置検討会において検討を進めております。

構想(案)の概要

研究科の名称：医療福祉学研究科（2学部を基礎として1研究科を設置する。）

専攻の名称：保健医療学専攻（保健学部5学科を1専攻とする。）

入学定員：54名（本学卒業生の他、留学生、他大学の卒業生も対象とする。）

医療福祉学部を基礎とする修士課程は今後検討。博士課程についても同様。

◇ケニア国・コメディカルカレッジプロジェクト発足

本学報第17号でお知らせしました、国際協力事業団の依頼により本学が協力することになった標記プロジェクトは、正式に本年3月1日から5年間の協力協定が締結され、プロジェクト・リーダーとして臨床医学センターの山崎統四郎教授が3月1日から一年間の予定で現地に赴任されました。

一方、ケニアから女性教官がコンピュータ分野の研

◇就職委員会

年間就職関係タイムスケジュール

月	基 本 事 業	4 年 次 生	3 年 次 生
4	・求人依頼文書・就職広報発送準備 ・求人依頼文書・就職広報発送 ・求人票掲示開始 ・定期健康診断	○第3回就職ガイダンス（学科） (就職活動具体的な留意事項説明) ・4期生就職状況報告 ・手続き及び就職活動に関する注意事項 ・進路選択II（進正テスト）	
5	・求人票受付	○公務員試験申込受付 (国家一級・二級、地方上級)	
6	・求人先開拓時期～9月	○公務員試験申込受付 (国家三種) ○公務員試験 (国家一級、地方上級) 1次試験	
7	・採用選考開始 ・福祉の職場説明会（各県）～11月	○公務員試験 (国家二種) 1次試験 (国家一種) 2次試験	○第1回就職ガイダンス（学科） (就職についての心構え) ・就職概要説明 ・年間スケジュール ・進路選択I（適性テスト）
8	・応募状況確認・手数処理～9月	○公務員試験 (国家一種) 合格発表 (国家二種) 2次試験 (地方上級) 1次発表・2次試験	
9		○公務員試験 (国家二種、地方上級) 合格発表 (国家三種) 1次試験	
10	・採用正式内定開始（1日） ・内定状況の確認と事務処理	○内定届の提出開始 ○公務員試験 (国家三種) 2次試験	
11	・採用内定事務所への札状送付（逐次発送） ・次年度「就職広報」作成準備 ・未内定者確認とフォロー	○公務員試験 (国家三種) 合格発表	
12		○国家試験顧問提出【看護】	○第2回就職ガイダンス（全体） (進路（就職）登録票提出) ・4年生就職内定状況 ・書類等作成方法 ・就職資料活用方法 ・公務員試験について ・情報収集について ・会社訪問等について
1	・未内定者フォロー重点実施～3月	○国家試験顧問提出【理学・作業】 【放射】	○進路（就職）登録票提出
2	・次年度「就職広報」完成	○国家試験【看護】（下旬）	○進路（就職）登録票分析 ○志望分野の情報収集
3	・次年度求人依頼先確定 ・就職対策反省検討会	○国家試験【理学・作業・放射】（上旬） ○国家試験合格発表【看護】（下旬） ※理学・作業・放射は4月下旬	

*国家試験【盲断】の試験は未定のため決まりしない報告

◇国際フィールドワークフェローシップ
海外研修（フィリピン）に参加して



フィリピン研修に参加してこの9日間で私が見かけた障害者は片手の指で足りる程でした。割合としてはどこもそれ程変わらないはずなのに彼らはどこに居るのかずっと聞きまわった9日間でもありました。そう、途上国ではまだまだ命を救う段階で障害者のQOLよりも伝染病対策が第一の課題でした。そして協力の手段もその国にあるもの、人を使って行うものであり、「資格を持っているからと日本から来ても何の役にも立ちやしない。」とNGOに言い返されました。その上、その国の文化や習慣、政策方針までは決してふみこめない援助協力の限界もまたあたりにし、途上国のニーズと私たちの持てるサービスのあり方をため息の塊から必ず見つけてみせると強くふるい立たされた9日間でした。

（作業4年 林由美子）

委員会報告

◇教務委員会

保健学部カリキュラム改編への取り組み

保健学部は、平成11年3月で4年を終え初めての卒業生を輩出します。この時期までに現行のカリキュラムを見直しすでに明らかになっているいくつかの検討課題を解決していくべきと考えています。専門職教育と大学としての教育を考える場合、本大学の持つ課題は大きいといえます。

平成10年6月ごろには新しいカリキュラムがまとまるよう各学科・教育センターは、見直し作業に取り組んで下さい。なお、カリキュラム見直しを進めていくにあたって、教務委員会の内部委員会としてカリキュラム検討小委員会を置いています。（杉原素子）

◇FD小委員会

FD（Faculty Development）小委員会は、平成9年度に教務委員会の下部委員会として発足しました。小委員会の目的は「教育の質的充実を推進するために、授業計画の作成、教授能力の開発・研究、学生の学習の充実についての調査・研究を行うものとする」であります。平成9年度のFD小委員会の活動計画は、第

2回教員研修会の企画・開催と授業評価の実施がありました。この計画に従って、月1回のベースで委員会を開催し、これらの事項について討議しました。平成10年2月26日㈭に平成9年度教員研修会を開催し、65名の参加教員の間で「大学と専門職教育」というテーマで活発な討議を行いました。基調講演は杉原教務委員長に「大学における専門職教育－カリキュラム改編に当たって」というテーマで講演をして頂きました。基調講演を受けて、小グループに分かれて、大学と専門職教育、教育技術、学習意欲向上のための手段などについてさらに掘り下げる論議を行い、現状の問題点の洗い出し、解決する手段、調査・研究すべき事項などについて共通認識を得ました。授業の評価については、現在の所、授業アンケートの実施やアンケート内容などについて検討中であり結論に至っておりません。（椎澤一之）



平成9年度 教員研修会

◇紀要委員会

第9回紀要委員会を昨年の12月16日㈬に開催し、平成10年になってからは第10回を1月27日㈭、第11回を2月24日㈭に開催しました。この間、紀要第2巻に掲載する論文の最終稿の確定作業を行うとともに、印刷部数についても検討を行い、学年進行とともに講義実習施設の増加が見込まれることから、配布先の増加が予想され、第1巻と同数の1500部の発注としました。紀要第3巻については、論文投稿の希望調査を行ったところ多数の応募をいただき、早速投稿の受け付けを開始しました。また、査読者のためのガイドラインを検討中です。（野原功全）

◇国際交流委員会

(1)国際保健専門家フィールドワーク・フェローシップに各学科と当委員会の推薦を受けて、国内研修（3月5・6日）に渡邊富美子（看護1年）、新堀美由紀（理学2年）、小野田公美（作業1年）、鈴木正浩（言語3年）、安藤幸子（放・情2年）、中山綾子（経営1年）、大竹由夏（福祉1年）、国内・海外研修（3月7～15日）に林由美子（作業3年）の皆さんに参加し、多くの事を学んだようです。海外研修につ

いては、林さんの報告(P4)をお読み下さい。

(2)県青少年社会参加活動研究集会「ユースフォーラム'97」が2月8日、ツインリンクもてぎで開催され、藤井清美(作業3年)、園村志津(言語3年)の両名が「海外ボランティア体験発表」を行いました。多くの若者に感動を与えたようで、県担当者から感謝の手紙が届いています。

(3)国際ボランティア活動'98の検討を行っています。

(4)委員会開催 1月13日、2月10日、3月17日
(田中美子)

◇ボランティア委員会

2/17第4回ボランティア委員会を開催。①9年度中の学内ボランティア活動の情報を収集して活動記録を作成することになり、早速各サークルや活動参加者に原稿を依頼。②D棟1階の掲示板の一角にボランティア委員会の掲示スペースができたので注意して見てください。③鳥山町から障害児を抱えたお母さんたちが大田原市内のプールで障害児のスイミングを手伝ってくれるボランティアの打ち合わせに来校、医療福祉学科山崎先生と打ち合わせ。④南金丸地区で4月から在宅高齢者に給食サービスが土曜日に実施されることになり本学にボランティアの要請あり。4/10豊医療福祉学科実習室で打ち合わせします。メンバー募集中。

(鈴木五郎)

学科・センターだより

◇看護学科

卯月のスタート

花が咲き、那須の青空にトンボがホバーリングするのどかな季節です。そして、初々しい1年生を迎えて全学年が揃い、華やいだキャンパスライフの始まりです。新入生の皆さん、おめでとうございます! 2年生は、病院での本格的な実習に、ちょっと不安な気持ちでしょうか。でも、きっと大丈夫。視野を広げて、沢山の事に接してください。3年生のなかには、春休みを利用して海外での研修やボランティア活動を体験した人もいます。楽しいお土産話はなに? 4年生は、最終学年。充実した1年になることを祈っています。

(寺田真廣)

◇理学療法学科

ついに、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの開始

ついに総合臨床実習Ⅰ・Ⅱの一期目が2月16日(月)よりスタートしました。実習スタート前は学生たちが毎日教員室にやってきては、戦々恐々としていましたが、それぞれの実習地へと学生は旅立ちました。そして、あっと言う間に6週間が過ぎ、何とか1期目を終えた学生が、学校に戻ってきました。まだ、1期目

の実習にもかかわらず学生は成長し、PTの顔に近づいていることに驚かされました。2期目の実習終了後の成長が楽しみです。まだ、実習が残っていますが、学生の皆さんがんばってください。(西條富美代)

◇作業療法学科

2年生評価実習、3年生課題実習終了

3年生は2月9日から3週間、課題実習(後期)が栃木県内の各施設で行われました。評価計画から始まって、評価実施、分析、治療・援助計画立案までの流れがつかめましたか? 2年生は3月2日から3週間、発達・身体・老年期障害領域は大学内、精神障害領域は県内病院において評価実習が行われました。評価・測定方法や手技、手段がつかめましたか? 長い春休みだった1年生、アルバイトに恋にと何かつかめましたか? 新1年生、ようこそ。知も技も惜もつかみ取りの大学へ。私は独り散財者。

(濱口豊太)

◇言語聴覚障害学科

野田雅子(のだ・うたこ)先生より図書寄贈

野田雅子先生が、ご自分の蔵書の中から、本学科に関わりの深い図書48冊と雑誌6種をご寄贈くださいました。

野田先生は、乳幼児のことばの発達研究における草分け的な存在です。津田英学塾卒業後、オレゴン大学心理学科で学ばれました。帰国後は、日本総合愛育研究所にて、長年ご研究を続けられました。笹沼先生とのご親交が深く、今回の寄贈となった次第です。

乳幼児のことばの発達と障害に関する図書が多く、本学科の教員・学生にとって大変貴重な資料となることでしょう。

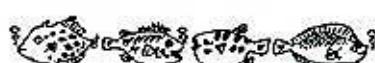
(中村淳子)

◇放射線・情報科学科

4月7日㈫の入学式で放射線・情報科学科は129名の新入生を迎えました。男子80名、女子49名です。

皆さんの入学を心から祝福いたします。大学に入ったからには、茶髪やピアスなどで外見を飾るのではなく、頭の中を知識や知恵で飾ってみようではありませんか。自分で自分を造っていきましょう。

長野冬季オリンピック'98では当学科の学生が西日本の聖火リレーの役員をつとめ、開催地長野では通訳として活躍し、それぞれ学生の良さを活かしたボランティアとしてオリンピックに貢献しました。これは学科として本当に嬉しいことでした。(野原功金)



◇医療経営管理学科

看護経済の講演会開かれる



去る2月27日(金)と3月7日(土)の両日、本学の招きでイギリス・スコットランドのクイーンマーガレット大学医療経営・人的資源学部助教授、ジエームス・ブキャン氏が来日され講演会が東京で開催されました。

氏は最近のNHS改革と看護労働の変化について分かり易く紹介し、またわが国でようやく注目されてきた看護の社会科学的研究の水準について説明されました。

この分野に興味のある研究者や管理者が多數参加され活発な質疑を行い、紀伊國学科長の司会のもと、実りある講演会となりました。 (矢野聰)

◇医療福祉学科

精神保健福祉士への準備と教員研究会

新法制定に応えて、医療福祉学科では早速、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するためのカリキュラムを整備し、新学期よりスタートさせます。これで本学科一期生から、進路希望と目的にあわせて精神保健福祉士を目指すことも可能になりました。

一口に医療福祉といっても教員の個々の専門は実に多様です。そこで本学科では、昨秋より月例研究会を開き、相互に勉強しあう機会を設けています。近接領域の研究者として各教員の研究は興味深く、狭い専門にとらわれない視座にたった討論も魅力的です。

(田澤薫)

◇医学教育センター

医学の余談

授業アンケートの結果、医学に大変興味を持ったという感想が数多くみられたことは喜ばしい限りです。

モナリザの頬には粟粒大の丘疹があり、黄色腫と思われます。彼女の理想美は美食によって保たれていたのでしうが、高コレステロール血症であったと思われます。猫家族としても有名なナボレオンは胃癌で死きましたが、胆石症もあり、あの上腹部に手をあてるポーズは、激痛に堪えていた勇姿かも知れません。

これからも医学を難解な学問と思わず、興味を持って身につけてもらいたいと思います。 (飯高和成)

◇語学教育センター

学年度末の英語補講実施

恒例の英語プログラムになってしまった「補講」が今年も2月16日から19日までの4日間に行われました。追・再試験の該当者、延べ180名余りがみっちり復習に精をだしました。午前9時から午後2時半まで、余分に英語の勉強ができることは、考え方によってはとても幸運なことではありませんか。ひとりの脱落者もなく全員がこの補講をおえたことは、英語科全教員にとって嬉しい成果となりました。願わくば、この特訓が英語に対してより積極的に取り組むきっかけになってくれればというところです。 (南井紀子)

◇情報教育センター

情報処理演習室のパソコンは開学以来3年を経過しハード・ソフト両面において旧式のものとなっていましたが、今年度(平成10年度)より、新機種を導入することになりました。新機種は日本電気製のMate NX MA16C/Cで、CPUはMMX-Pentiumプロセッサ166MHz、メモリ32MB、固定ディスク2.1GBの性能のものです。ソフトウェアは、OSがWindows95で、アプリケーションソフトが、Microsoft WordとEXCELLが使用できます。なお、一大郎とLOTUSも現在演習室で利用バージョンのものが使用できます。Windows3.1で授業を受け、Windows95の操作ができない人に対しては、情報教育センターで対応を検討中です。 (樺澤一之)

◇臨床医学センター

この冬は当クリニックでも学生・教職員のインフルエンザ、花粉症で盛況(?)がありました。特に後期試験を受験する学生に関しては今年の11月からインフルエンザワクチンの接種をお勧めします。

保健婦の利府さんからは定期健診で再検、精査を言い渡された学生・教職員の受診率の低さが指摘されています。講義やお仕事の合間にクリニックに御相談下さい。新設の外来として火曜日午後に麻酔科福島教授の疼痛外来(腰痛、頭面痛、頭面神経麻痺、花粉症など)と自治医大桃井教授等の小児神経外科があります。 (伊藤雅彦)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書・論文どちらか1点のみ⑦本校における担当科目⑧趣味。

橋本久子（はしもと ひさこ）



①看護学科・講師②1940年③北海道大学医学部附属看護学校、佛教大学社会福祉学科④臨床看護実践⑤精神薄弱者更生・授産施設⑥卒業論文のみ⑦臨床看護実習指導・コミュニケーション論Ⅱ⑧昔は読書、旅行、今は家でテレビ・ラジオ視聴と読書（ノンフィクションが好き）

加藤 育（かとう いく）



①言語聴覚障害学科・助手②昭和39年7月9日③上智大学、国立身体障害者リハビリテーションセンター学院④小児の言語障害⑤千葉県こども病院、昭和大学病院⑦臨床実習⑧スポーツ競技。

野球は巨人、サッカーはジュビロのファンです。また以前は歌舞伎観劇もよく行っていたのですが、今年はまだ行けていません。自分で行なうものは散歩や料理等で小さな幸福を感じる位です。

橋本光康（はしもと みつやす）



①放射線・情報科学科・助手②1962年③東京理科大、日本大学大学院理工学研究科博士前期課程④放射線治療物理学、治療技術学⑤国立東京第二病院（国立病院東京医療センター）⑥透過法による医療用LINACで生成された制動放射線の測定⑦放射線治療技術学実験、基礎物理学実験、放射線計測学実験、医用画像技術学実験⑧体

日に家族とのんびり過ごすこと。

佐藤貴一郎（さとう きいちろう）



①医療経営管理学科・教授②昭和18年③慶應義塾大学（経済学部、大学院：経済学研究科修士課程理論経済学専攻）④システム分析（医療システム、医療情報システム、経営情報システム、医療経済評価、テクノロジー・アセスメント）及び経済・経営統計⑤帝京平成大学情報学部経営情報学科⑥医療福祉における選択・計画とアセスメントモデル（共著）日本医師会編『国民医療年鑑』昭和52年版、春秋社⑦医療従事者－患者コミュニケーション論、保健・医療・福祉政策論⑧音楽鑑賞、美術鑑賞、旅行（今後漢流釣り希望）

六波羅詩朗（ろくはら しろう）



①医療福祉学科・教授②1954年③東洋大学大学院社会学研究科博士後期課程④公的扶助論、社会保障論、社会福祉行政論⑤長野大学社会福祉学科⑥（共著）高齢社会の法律（早稲田大学出版部）1997年⑦社会保障論、公的扶助論、社会福祉援助技術演習等⑧音楽を聞くことが好きで、特にジャズについてはうるさい方です。またパソコンは、8ビットの時代から10台以上購入しました。パソコン通信歴は、ニフティサーブの創設以来からの会員です。学生とのやりとりをパソコン通信でできればと、現在思索中です。

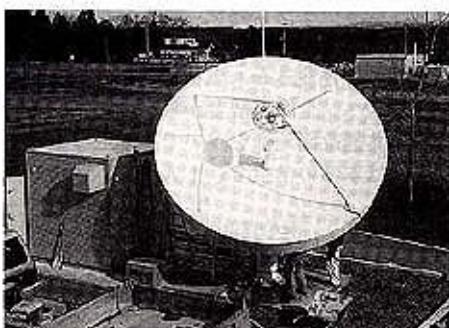
第6回IUHWクイズ当選者発表

多数応募の中から正解者は14名でした。厳正な抽選により放・情3年安藤幸子さんが第6回IUHWクイズの当選者に決定しました。正解は下記の通りです。回答者のみなさまご協力ありがとうございました。

正解……

問1. (1)中国との通信衛星用アンテナ

問2. (2)4m50cm



問1. この物体の正体は？

- | | |
|---------------------|----------------|
| (1) 中国との通信衛星用アンテナ | (1) 4メートル |
| (2) ベトナムとの通信衛星用アンテナ | (2) 4メートル50センチ |
| (3) 遅刻者を取り締まるレーダー | (3) 5メートル |
| (4) 校舎を守るバリア装置 | (4) 5メートル50センチ |

問2. ズバリ直径は？

サークル紹介

山岳スキーカー部

ふれあいと感動 長野パラリンピック

パラリンピックを御



存知でしょうか? マスコミの取り組みが消極的だったために一般の人の関心も薄かったと感じました。私はクロスカントリーと男子大回転を競戦しました。そして3つ大きなものを得ました。1つは「感動」というプレゼントを頂きました。2つ目は、生きていることのすばらしさを教えてもらいました。3つ目は、挑戦することのすばらしさを教えてもらいました。TVで見て何の感動もなかった人はその競技を自分でやってみて下さい。そして障害者の競技を見て下さい。きっと感動できるはずです。

(放・情4年 坂本裕明)

編集後記

平成10年度最初の「IUHW」をお届けします。平成7年6月に創刊1号をお届けしてから、3年間、ほぼ2か月に1回の頻度で、年6回ずつ発行することができました。また、「IUHW」のスタイルもできあがりました。ひとえに執筆者・読者の皆様のご協力の賜です。「正確な情報をタイムリーに」をモットーに、さらに魅力ある学報を目指します。今年度はどうぞよろしくお願い致します。

(伊藤元信)

IUHWクイズ 一第7弾一

今回は新年度号ということで簡単な本学に関するクイズです。

解答番号を書き込み、事務局窓口外側のメールボックスへ。全問正解者から、抽選で1名の方に全国共通遊園地券をペアで差し上げます。応募資格は本学の学生で、1人1通、〆切は6月10日。

キリトル

学科_____ 学年_____

名前_____

解 答

問1. _____

問2. _____

問3. _____

リレーエッセイ

ことは・ことだま

言語聴覚障害学科 城間 将江

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」ヨハネによる福音書の序章です。この「ことば」は、ギリシャ語の「ロゴス」が原語で、法則、理性、精神、言葉などを意味し、全世界を動かす精神的、理性的な力、と解されていることを、その昔に学んだ記憶があります。語の解釈はさておき、「ことば」が靈的な存在として記されることは興味深く思われます。

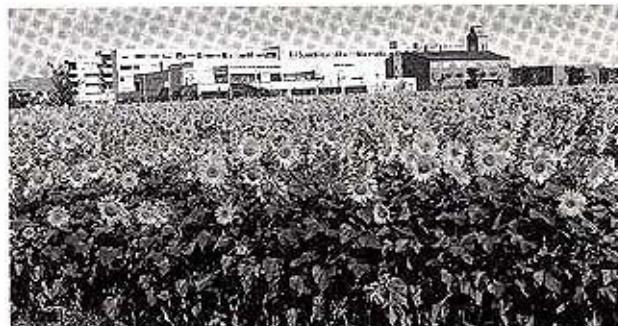
一方、日本語に「ことは」という枕詞があり、「古代日本で、言葉に宿ると考えられた靈的な力、言葉の不思議な働き」を表す、言靈(ことだま)にかかるそうです。言葉の使い方によって人間の禍福が左右される、ということのようです。言語の違いに関係なく、太古の昔から、人々は言葉の魔性を信じていたのでしょうか。

ところで、この魂の入れ・入り具合の判断が容易ではありません。過剰だと欺瞞や作為を感じます。過少だと、表現が流麗である程、無味乾燥で空洞の響きがします。

質量ともに、ほどよい接觸の「ことは」を吹く・吹かせると、心が豊かになるような気がしますが、いかがでしょう。言語の適切な使用に加えて、生涯の課題です。

次回執筆者：山崎順子先生（医療福祉学科）

賞品はなんと全国共通遊園地券をペアで！



問1. 821名の新入生を迎えた本学の全学生数は約何名？

- ①約2700名 ②約3200名 ③約3800名

問2. 本学全学生の男性と女性の比率は？

- ①2:8 ②4:6 ③9:1

問3. 本学で一番座席数が多いF101講義室の全座席数は？

- ①500席 ②600席 ③700席